

第2回会合の議論整理：「価値」と「仕組み」

価値

個の多様性

- 多様性による種の存続の担保
- 自分がやりたいことをやれる
- 多様性と専門性の組み合わせから重要な価値が生じる

リアル

- 人間らしさ、「自然化」
- 歴史、伝統
- サイバーに代替されることによる体感や体得への価値
- プライバシーの確保
- 偽物ではないという信頼感

新しいを創る (イノベーション)

- 情報財を利活用した新しい価値の創出
- 新結合、融合、昇華
- 集団、組織を越えた専門家のつながり
- デザインカ
- 既存のルールやタブーの超越
- 変化を実現するスピード

社会の多様性

- 非GDPの価値（共感、信用、貢献等）
- 安全、安心
- 非中央、分散
- 資源集中や格差の是正（再分配）

仕組み

多様な個性を生みだす仕組み

- 自主性・好奇心・行動力を涵養し、チームを組み（リソースを組み合わせ）、国内外に課題を定義し、アクションを取れる人材の育成
- 他者との違いを生み出す力や、複数の選択肢から選ぶ力が重要
- 多様性を受容するための感性、コミュニケーション力も重要
- 濃い「リアル」「生」の経験の提供
- 学びも娯楽ととらえたバーチャルコンテンツの開発
- 学びのモジュール化と選択・アクセスの拡大
- アイデアを結合し、協働するための大学のプラットフォーム化
- 記憶、体験等のコンテンツデータベースや、五感を体現できるアーカイブの構築

多様な個人が活躍する環境整備

- 一人の人間が持つ多様性・能力を引き出し、多数人の細分化された時間・アイデア・生産性を相対評価
- 時間・アイデア・生産性の需給をマッチングするプラットフォームを構築し、協働という形で提供
- 多様な選択肢と選択の自由の確保
- 協働のため、個人が自由に移動できるパーソナルモビリティ、移動の高速化などの新交通システムが必要
- 再チャレンジが可能な仕組みや環境整備
- ベーシックインカムを検討

知識のプラットフォーム化

- データ・AIを含む知的資産をシェアし利活用することで新たな価値を生み、知的資産の価値自体も向上させるシステム
- データ分析、メタ化による新しい価値源泉の発見
- 人のネットワーク、産業のサプライチェーンなどあらゆる場面においての情報を媒介とするエコシステムの構築
- SDGsの枠組みの中での融合促進と新たな価値の発信
- 「リアル」のアーカイブ化
- プラットフォームをバックアップする金融システムの整備

多様な価値を内包する社会システム

- GNH(Gross National Happiness)の新たな指標を開発し、それに対応した経済社会システムを高度化
- 多様な個人を包摂し、統合的に社会を運用する仕組み
- 様々なシステムの実験的導入、複数の選択肢の中での競争を促す仕組み
- AIの導入によって、多様な選択肢を提示するシステムの構築
- 異質なもの・外部から入ってくるものとの共存・融合のため、外国人材の受入れや突然変異の可能性を高めるシステムを構築（例：e-citizen）
- 地域ごとに保有する資産を活用し、ライフスタイルを提供。国・自治体はそのようなサービスを支えるための仕組みやコミュニティを保障。